

採択案件の例

“秋田に行って美人になろう”プロジェクト

【秋田県商工会連合会（秋田県）】

「秋田美人」をキーワードに県内各地の温泉を核として、郷土料理、特産品、文化など地域の資源を掘り起こし新たな価値を提案。

さらに「日本女性“総秋田美人化”ツアー」や「秋田美人倶楽部（仮称）」など新たな事業展開を図る。

「たかしまベリーフルーツの里」

【高島市商工会（滋賀県）】

地域におけるビジネスモデルのひとつとして、地域資源である果実等（いちご、キウイフルーツ、ブルーベリーなど）に加え、ブラックベリー、カシス、クランベリーを新たに栽培し、第1次、第2次並びに第3次産業を統合した『第6次産業』として「ベリー・フルーツの里」の実現を目指す。観光客の誘客を図るとともに、特産品の開発も行い、地域のブランドの確立を目指す。

秀吉が辿った湯の山街道再生と土産品開発事業

【三木商工会議所（兵庫県）】

羽柴秀吉が辿った「湯の山街道」を観光客が訪れるようなロマンチック街道に再生するため、街道をめぐる物語や歴史を発掘するとともに、全国屈指の金物生産地を活かした新たな特産品や観光グッズの開発を行う。

筑後ふるさとブランド開発事業

【筑後商工会議所（福岡県）】

2010年の九州新幹線鹿児島ルートの特設全線開通に向け、全国から観光客の誘客を図り「筑後ブランド」の確立を目指す。

地元素材を活用したジャムなどの特産品の開発や、「かすりロード」と「坊ノ津街道」の観光開発の推進、「観光おもてなし教育」の充実など、ブランド確立に向けた取組を実施する。